

**志木市民会館及び志木市民体育館再整備基本設計業務委託  
公募型プロポーザルの審査結果及び審査講評について**

**令和3年12月**

**志木市民会館及び志木市民体育館再整備設計候補者選定委員会**

## 1. 選定結果

志木市民会館及び志木市民体育館再整備基本設計業務に係る公募型プロポーザルについて、第1次審査で選定された事業者から提出された技術提案書等について、プレゼンテーション及びヒアリングを実施したうえで、志木市民会館及び志木市民体育館再整備設計候補者選定委員会において、第2次審査を行った結果、次のとおり最優秀者（基本設計候補者）及び優秀者（次点）を選定した。

最優秀者（基本設計候補者） 株式会社 石本建築事務所

優秀者（次点） 株式会社 INA新建築研究所

## 2. 講評及び結果の詳細

第1次審査では、参加表明の提出のあった5者（審査においては匿名でa、b、c、d、eとした）について、応募者の技術職員数や業務実績に基づいた定量的評価と、取組方針や業務体制についての定性的評価を行った。定量的評価については各社とも問題なしとされたが、定性的評価においてcの提案が一般的なものに過ぎず、本事業で予想される複雑な課題に対応できないと判断され、選外となった。

第2次審査では、4者（審査においては匿名で発表者1、発表者2、発表者3、発表者4とした）から提出された技術提案書について、公開によるプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、各者の業務実施方針、設計工程・全体概略工程及び業務体制に加え、以下の4つのテーマに対する技術提案などを基に総合評価を実施した。

### 【4つのテーマ】

- ・テーマ1「志木市らしいコンパクトな施設計画の考え方について」
- ・テーマ2「それぞれの機能の在り方及び複合化についての考え方について」
- ・テーマ3「災害・環境配慮に対する考え方について」
- ・テーマ4「ライフサイクルコストの考え方について」

各社とも豊富な実績を有しており、業務実施方針、設計工程・全体概略工程及び業務体制については同等な評価をされたが、技術提案の4つのテーマの中で配点が高い「志木市らしいコンパクトな施設計画の考え方について」と「それぞれの機能の在り方及び複合化についての考え方について」で比較的大きな差がついた。狭い敷地に異なる機能を複合させる本事業の特性に対する、応募者の考えが大きく異なったためである。

選定委員会による第2次審査の結果、合計点が最も高かった株式会社石本建築事務所（発表者3）を基本設計候補者に選定し、次に高かった株式会社 INA 新建築研究所（発表者4）を次点候補者に選定した。

最優秀者（基本設計候補者）となった株式会社石本建築事務所の提案は、1階にアリーナ、平土間になるホール、多目的ルームを並べた上で、室内広場を介して一体的に利用できる点が評価された。他者にも同様の案はあったが、必要に応じてアリーナとホールの動線を明確に分けることができる工夫や、災害時の空間利用想定が明確に示されていることが際立った特徴であった。また、隣接するいろは遊学館との連携について、実際に現地を視察した上での独自かつ具体的な提案をしている点や、ヒアリングで出た疑問点について担当者が的確に回答したことなど、志木市とともに複合施設をつくり上げていくパートナーとして十分に適任であると判断された。

次点候補者となった株式会社 INA 新建築研究所の提案は、異なる機能を1枚の大屋根で包む意匠的に優れた案であるとともに、屋根の下にエコダクトを入れた環境にも配慮した提案であった。また、地下駐車場を設けないという他者には見られない独自の考え方も評価されたが、結果的にはこれによって生じる1階ホール・ホワイエの狭さや、提案にある駐車場での屋外イベントに現実性がない点が問題視され、選定には至らなかった。

他者の提案の中にも多くの優れたアイデアが見られた。屋外広場を多く配置する、舞台搬入口も含め車はすべて地下に導く、キッズスペースを散りばめるなど、それぞれが魅力的であったが、複合施設を統合して運用するという次元にまで結びつけることができなかった。

本事業の選定にあたっては課題の複雑さと敷地の狭さに加え、提案時間の短さも大変困難であったと思われる。実際に選外案の中には、もう少し時間があればよりよい提案になったと想像できるものがあったが、それを踏まえた上でも基本設計候補者の提案は一步抜き出るものであった。

最後に、限られた時間の中で優れた案をつくるのに大きなエネルギーを注いでくださった参加各者に、心よりお礼を申し上げる次第である。

志木市民会館及び志木市民体育館再整備設計候補者選定委員会  
委員長 岡本和彦（東洋大学理工学部建築学科教授）

### 3. 志木市民会館及び志木市民体育館再整備設計候補者選定委員名簿

学識者	岡本 和彦	東洋大学理工学部建築学科教授（委員長）
学識者	市川 均	アーキネットデザイン合同会社 代表 早稲田大学 創造理工学部 建築学科 非常勤講師
埼玉県	松井 直行	埼玉県都市整備部営繕課長
志木市	櫻井 正彦	志木市副市長（副委員長）
志木市	村山 修	志木市市民生活部長
志木市	松永 仁	志木市市長公室長
志木市	北村 竜一	志木市教育政策部長

### 4. 審査の経過

日にち	内容
令和3年10月25日	第1回選定委員会
令和3年10月27日	公募型プロポーザルの公告
令和3年10月28日～11月1日	参加表明書等に関する質疑受付
令和3年11月5日	参加表明書等に関する質疑に対する回答
令和3年11月8日～11月10日	参加表明書等受付期間
令和3年11月15日	第2回選定委員会（第1次審査）
令和3年11月16日	第1次審査結果通知
令和3年11月17日～11月24日	技術提案書等に関する質疑受付
令和3年12月1日	技術提案書等に関する質疑に対する回答
令和3年12月13日～12月15日	技術提案書等受付期間
令和3年12月24日	公開プレゼンテーション及びヒアリング
令和3年12月24日	第3回選定委員会（第2次審査）
令和3年12月24日	審査結果通知及び公表